

復活! 毎年レクイエム 第6回.....

2006年のモーツァルトイヤーに始まった、モーツァルトの命日にレクイエムを演奏する、「毎年レクイエム」。お待たせしました。今年から再開です!

作曲後200年以上経ってなお、尽きせぬ興味、謎、そして感動を与えてくれるモーツァルトのレクイエム。これまで色々な版を演奏してきましたが、今回は初心に戻りジュスマイヤー版を演奏します。

ご存じのようにこの曲はモーツァルトの絶筆で、多くの部分が不完全な形で、いくつかの曲は全く作曲されずに残されました。亡くなったモーツァルトはすでに半金を受け取っており、妻コンスタンツェは作品を完成させてくれる人物を探します。2人に断られたあと、その作業はモーツァルトの弟子のジュスマイヤーに任せられました。彼は残ったスケッチなどの資料を元に(もしかするとモーツァルトから作品について直接言葉を聞いていたかもしれません...) 今日に伝わる版を完成させました。

ジュスマイヤーの補筆のつたない部分については当時から指摘されていましたが、モーツァルトの音楽の精髓を今日まで伝えた功績はもっと評価されてもよいでしょう。

「聖体の祝日のためのリタニア」K.243はザルツブルグ時代のモーツァルトの傑作です。当時のモーツァルトとしては例外的に自由な形式で作曲されています。二重フーガは「レクイエム」を彷彿とさせ、「Tuba mirum」のメロディーまで現れます。「レクイエム」をご存じの方には特にお楽しみいただけることでしょう。

第9 一色になる年末を前に、モーツァルトの世界に浸りませんか?

MOZART ACADEMY TOKYO

モーツァルト・アカデミー・トウキョウ 通称MAT~マツト、とお呼び下さい。

モーツァルト生誕250年の年にデビューした、古典派音楽を愛し、追究する、プロフェッショナル・オーケストラ&ヴォーカル・アンサンブル。合唱は各地でソリストとして活躍している歌手が精緻なアンサンブルを求めて集結、ソロメンバーが分担して歌います。オーケストラはオリジナル楽器を使用し、声楽、器楽、双方から作品の本質に迫ります。

● MAT ヴォーカルアンサンブル

Soprani 大塚 恵美子 金成 佳枝 穴倉 朋子 名倉 亜矢子 本宮 廉子 渡邊 有希子
Alti 今井 典子 北條 加奈 吉成 文乃
Tenori 大野 彰展 坂口 寿一 真木 喜規
Bassi 小家 一彦 小藤 洋平 淡野 太郎 中川 郁太郎 山形 明朗

● MAT チェンバーオーケストラ (オリジナル楽器使用)

ヴァイオリン 大久保 幸子 大谷 美佐子 大西 律子(leader) 須賀 麻里江 関口 敦子 鍋谷 里香
ヴィオラ 上田 美佐子 春木英恵
チェロ 十代田 光子
コントラバス 寺田 和正
フルート 菊池 香苗
バセットホルン 横田 揺子 李 胎蓮
ファゴット 鈴木 禎 淡島 宏枝
トランペット 中村 孝志 中村 肇
ティンパニ 鈴木 力
サクソバット 武田 美生 小野 加奈代 生稻 雅成
オルガン 渡部 聡



※出演メンバー、プログラムに変更がある場合はご了解下さい。

● 音楽監督・指揮 坂本 徹

桐朋学園大学古楽器科卒業。パーゼル・スコラ・カントールム、デン・ハーグ王立音楽院に留学。古典クラリネットをE.ホープリッチ、合唱指揮をH.M.リンデ他の各氏に師事。1993年ブルージュ国際古楽コンクール、アンサンブル部門第1位を受賞(Trio van Beethoven)。ベルギーの「アニマ・エテルナ・オーケストラ」のクラリネット奏者として数多くのプロジェクトに参加した他ヨーロッパ各地の古楽オーケストラで活躍。合唱指揮者としては2005年にモーツァルト・アカデミー・トウキョウを結成、モーツァルトの教会音楽のスペシャリストとして活動している。近年はアマチュアオーケストラ、合唱団の指導、育成にも力を注ぎ、国分寺チェンバーオーケストラ、東京クラシカル・シンガーズ、メルケール、オーケストラ・オン・ピリオド・トウキョウの音楽監督/指揮者を務める他、各地の団体の指導にあたっている。

Photo: 小島竜生

